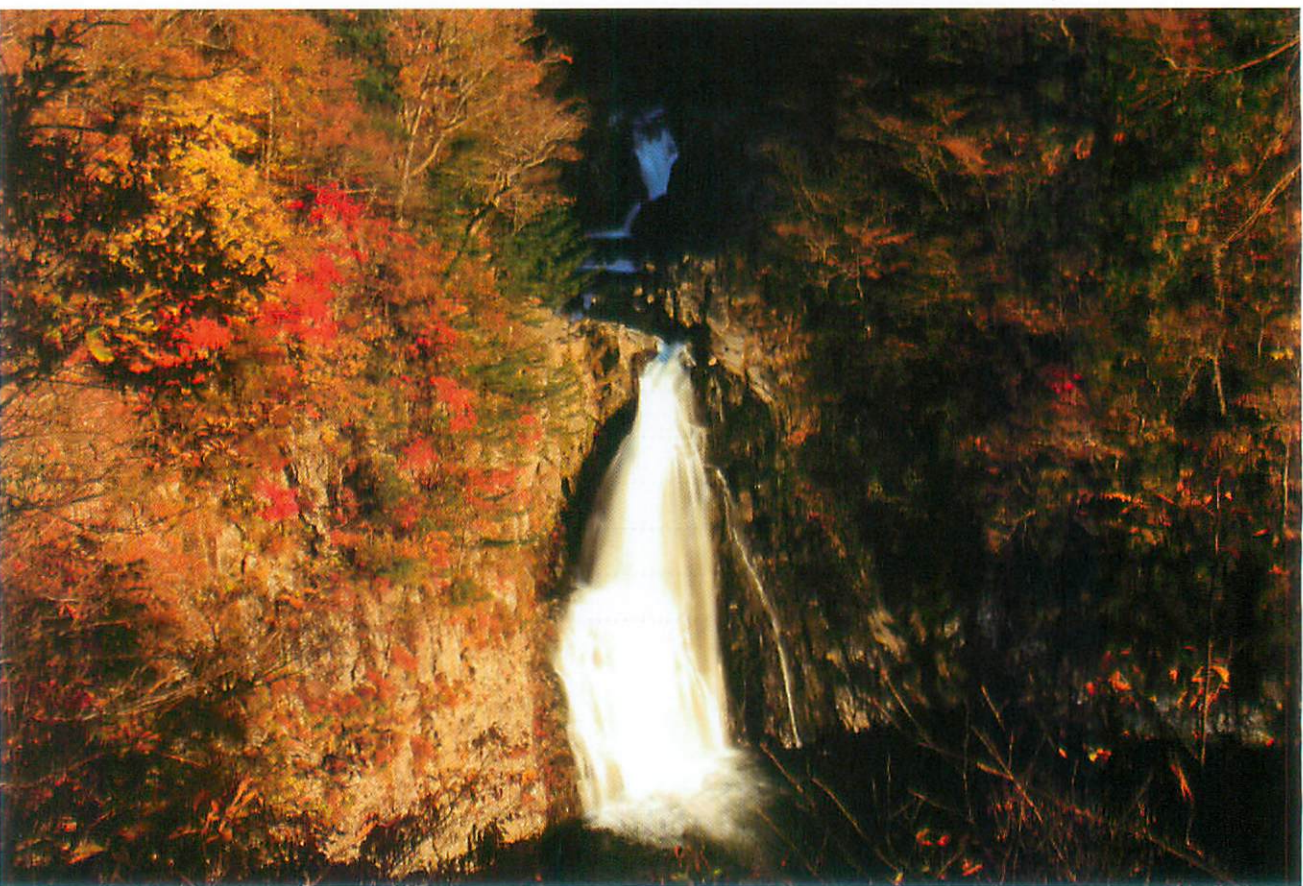


北光

第 155 号

平成25年10月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉾山専門学校
秋田大学鉾山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

目 次

北光会年会費について……………	1
年会費銀行口座自動振替のお知らせ……………	2
巻頭言…………… 玉 本 英 夫 ……	3
会長便り…………… 菊 地 芳 朗 ……	4
平成25年度第1回理事会・第62回通常総会報告……………	5
平成26年度通常総会・理事会のお知らせ……………	18
寄 稿	
乾杯は熱燗で!!、平成25年、JR山の手線徒歩一周の会報告	
…………… 大 山 宏 ……	19
学生クラス幹事会 始動…………… 神 谷 修 ……	21
学生クラス幹事によるインタビュー……………	22
「北光会技術相談システム」の活動を開始! …… 菅 井 幹 夫 ……	26
学生の声	
オープンキャンパス「頑張ったで賞」の授与式が行われる……………	28
「頑張ったで賞」を受賞して……………	28
北から南から……………	35
母校便り……………	44
事務局から……………	45
訃報……………	46
編集後記……………	48

表紙写真説明：法体(ほったい)の滝(秋田県由利本荘市)

日本の滝百選にも選ばれております。紅葉の頃は特に見応えがあります。

撮 影：杉 山 渉(MH2)

～北光会年会費について～

2種類の払込用紙が同封されております。

どちらかの用紙をご使用の上、お振込くださいますようお願いいたします。
 なお、平成25年度分の年会費を納入されている方には同封されてお
 りませんのでご了承ください。

1年分(3,000円)ご納入の方は下記の用紙をご使用ください。
 (コンビニまたは郵便局からのお振込)

卒業年・会員番号です。

過去に未納分がある
 場合でも、今年度分
 の会費納入とさせて
 いただきます。

2年分・3年分・5年分、並びにご寄附等の方は下記の用紙
をご使用ください。(郵便局からのお振込)

◆5年分(12,000円)は前納割引となっております。

●該当する□に✓を入れ、金額欄に
 合計金額をご記入ください。

●会員番号・卒業年は上記をご参照
 ください。

年会費銀行口座自動振替のお知らせ

北光会では、皆様の年会費払い込みの便宜を図るため、銀行口座自動振替による会費納入を導入することにいたしました。つきましては下記の利便性をご考慮いただき、是非「年会費銀行口座自動振替」のお申し込みをお願いいたします。

なお、払込用紙によるご納入も引き続き承っております。

口座振替による年会費納入のメリット

1. 通常1年分 3,000 円の会費が、2,400 円と大幅な割引になります。
2. 払込みのため郵便局、コンビニエンスストアなどに出向く手間が省けます。多忙で払込の時間が無い方、又お近くに郵便局、コンビニエンスストアが無く払込の不便を感じておられる方は是非ご利用ください。
3. 「あれ？年会費払ったかな？」のご心配が無くなります。

◇収納委託先 NSS 日本システム収納株式会社

◇振替金額 2,400 円（1年に1回です）

◇振替日 初回は平成26年5月27日、その後毎年5月27日に口座より自動引き落としされます。

◇口座振替金融機関 都市銀行、地方銀行、ゆうちょ銀行他ほとんどの金融機関が利用可能です。

◇お申込方法 電話、メールなどで北光会事務局までお申込ください。後日北光会より関係書類（銀行口座振替依頼書等）が送付されます。

※ 年会費を複数年前納されている方で口座振替をご希望の方は下記までお問い合わせください。

北光会事務局 TEL 018-835-9822 018-889-2317

FAX 018-835-9822

E-mail info@hokkokai.com

理事・副学長就任挨拶 - 37年間を振り返って -

秋田大学理事・副学長 玉 本 英 夫



私は37年前の昭和51年4月、当時の鉱山学部電子工学科に着任するために、上野から「つばさ」に乗り、秋田に向かいました。夕刻、秋田駅に下り立ちましたことをはっきり覚えております。駅前

然としており今の風景とまったく異なっておりましたが、活気が感じられたように記憶しています。契約していたアパートがまだ完成してなくて、1ヶ月ほど、北門にあった「北光会館」にお世話になりました。構内には、鉱山専門学校時代に建てられた木造の校舎が残っていて、現在とは随分趣を異にしていました。このとき、この後37年も秋田大学のお世話になることは想像だにしていませんでした。

この37年、鉱山学部は大きく変わりました。平成2年、3年に学科の改組・再編、情報工学科の新設、平成6年に博士課程の設置、平成14年に学科の改組・再編、工学資源学部の設置がありました。平成25年には国際資源学部・理工学部が設置されます。変わっていないものがあります。それは、鉱山学部から工学資源学部になりましたが、学部名称が日本で唯一であることです。学部名称には、大学の社会に対する責務の意思が表明されています。大学としての自己主張でもあります。

いつの世でも鉱山資源は産業の重要な基盤です。グローバル化が進んで、地球規模で考えたとき日本では鉱業が産業としては必ずしも優位な状況にはありませんが、鉱業が繁栄した時代があり、そのときに様々な技術が開発され、また知識・知恵が蓄積されました。その技術、知識・知恵をきちんと継承し、さらに新たな技術の開発を行い、まったくぶれずに国内唯一の学部名称を掲げて教育・研究を行って来たことは、大学としての自己主張であり誇らしく思います。

最近、研究会等で研究者仲間に会うと、秋田

大学が資源リサイクルの分野で活躍しているとの指摘をよく受けます。資源系の学科を擁していること、資源国からの研究者・留学生を受入れていること、資源リサイクルの教育・研究の拠点になっていること、来年度、新学部（国際資源学部）ができることなどです。多くの卒業生の方が各方面でご活躍されていることの証です。

私は、学部の設立75周年の記念事業の一つである国際交流基金から支援をいただいて、平成元年6月から8月まで米国のアイオワ大学に研究員として滞在しました。外国に滞在するのは初めての経験で学ぶことがたくさんあり、その後の私の研究の方向を決める重要な機会になりました。この十数年、北光会の理事（コンピュータ担当）を勤めさせていただきました。北光会関西支部総会、中国支部総会に出席させていただき、卒業生の方と親しく歓談し、ご活躍の様子をお聞きしました。10年程前の地域共同研究センター長時代、東京サテライトで開催しました「産学連携セミナー」では、北光会会長、東京支部長を始め多くの会員の方にお世話になりました。研究生活を送る上で、事業を進める際に、北光会、北光会の会員の方々には、様々な形でお世話になったことを思い出します。

私は平成25年3月に工学資源学研究科の職を一旦辞して、4月より、秋田大学理事・副学長に就任いたしました。平成16年の国立大学の法人化に伴い、大学への社会からの要請が大きくなる一方で、活動に対して厳しい目が注がれています。学長のリーダーシップの下、この社会の要請にいかに応えていくかが、大学の存在価値を左右することになります。37年間、鉱山学部、工学資源学部で多くの諸先生方からご指導いただき、卒業生の方からご支援いただきながら学びました経験を活かして、秋田大学の発展のために非力ながら貢献したいと思います。北光会の会員の方々には、引き続きご支援下さいますようによろしく願います。最後に、北光会会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

「北光会」創立90周年に向かって ～会の活性化と会費納入率の向上～

菊 地 芳 朗 (GS34)



先の「北光」でお知らせいたしましたように、元会長の狩野豊太郎さんが去る4月10日にお亡くなりになりました。狩野さんは9年間もの長きに亘り会長職をお勤めになり、その間学部創立75周年記念事業と鉱業博物館創立30周年記念事業の募金委員長としてご尽力されるなど

母校と北光会の発展に寄与されました。そのご功績に深く感謝申し上げますと共に謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年の夏は異状気象でしょうか、今まで記憶にないほどの記録的なゲリラ豪雨で各地に被害をもたらし、最高気温の記録更新と連日の猛暑など例年にない夏となりました。被害に遭われました皆様にはお見舞い申し上げます。

北光会は昭和3年に設立されて今年で創立85周年を迎えました。北光会設立の経緯やその後の活動については、創立80周年時の「北光」第141号(平成20年8月7日発行)の「巻頭言」に詳しく述べてあります。それに加えるとすれば、平成23年に皆様のご協力の下に学部創立100周年記念事業を無事に終えたことです。

創立100周年も終わり、これからは北光会の長年の課題であります会費納入率の向上と主に若年層を対象とした会の活性化に取り組まなければなりません。

また、今年の総会で監事から「基金不足の懸念より一層の経費節減等の取り組みを求める」と指摘されております。このためにも会の活性化を行い会費納入率の向上に取り組まなければなりません。

卒業生が同窓会に関心を持つ度合いをどのようにして見るか。これを示しているデータとして今私たちの手元にあるものは会費納入のデータだけあります。会費納入率を同窓会への関心度として見てみたいと思います。

これを見ますと、若年層の会費納入率の低さは一般的な傾向として知られておりますが、ここで見落としてならないことは各学科によって納入率に違いがあるということです。学科は時代と共に変遷しておりますが、これらを系列別に並べて見ますと明らかに学科によって納入率に差が見られます。これらの傾向は創立100周年の寄付納入率にも読み取ることが出来ます。

活性化の一助として、クラス幹事制度の導入、事務局長のブログ、北光会グッズの作成などを行うこととし、加えて北光会員が持っている技術を相互に活用する技術相談システムを発足することにしております。

会費納入についても65歳以上を対象とした永年会員会費や銀行口座自動振替などを導入いたしました。しかしながら会費の納入率は23年度の27.4%から24年度は24.7%と減少しております。原因を考えてみますと24年度は会誌の発行を3回から2回に減少いたしました。このことも納入率減少の一因と考えられます。

要するに、こまめをお願いして行く事が必要ということです。会員にどのようにして訴えていくか、ホームページの活用など、これから検討していかねばなりません。

また、顧問と副会長を創立100周年記念事業の関係から企業と会員数の多い秋田と東京の会員にお願いしておりましたが、本年より広く皆様のご意見を伺えるように北海道、秋田、東京、東海・北陸、関西、九州の各支部の会員に広げてお願いしました。

5年後に北光会創立90周年を迎えます。先に申し述べました若年層の問題を念頭に90周年の記念事業として学生準会員を含めた若年層のためになる事業を考えたいと思っています。これから皆様のご意見を聞きながら検討することといたします。

今年も東北支部の納涼大会で仙台に伺った折、東日本大震災の被災跡を見てきました。今年で3回目となりました。昨年は田圃に生い茂った草は刈り取られ、点在しておりました自動車やタンクなどの流出物は撤去され、避難していた地域には一部の住民の生活も始まっておりました。

今年は居住している家屋も多くなり、畑を耕作しているところもありました。しかし、田圃は相変らずの雑草で、復旧の調査をしているのでしょうか所々掘り起こされているところがありました。そこを見ますと海から流されてきたのでしょうか砂地でした。復旧は大変なことと感じてきました。

それでもこの辺は、徐々にではありますが復旧が進んできております。しかしながら福島原発は汚染水の処理で大変なことになっております。海外でも関心を持たれております。何か良い対策がないのでしょうか。

北光会は皆様の会費で維持されております。
会費納入率の向上にご協力ください。

平成25年度北光会第1回理事会・第62回通常総会報告

庶務担当理事 麻 生 節 夫 (HS52)

〔第1回理事会〕

平成25年度北光会第1回理事会は、6月1日（土）総会に先立ち13:30より14:30まで、秋田キャッスルホテルの「放光の間」で開催された。出席者は顧問1名、会長、副会長2名、監事3名、支部長7名、各支部理事36名、事務局（理事）3名、の計52名であった。神谷事務局長（MS51）による開会の挨拶の後、菊地芳朗会長（GS34）が議長に選出され議事が進められた。議事およびその報告・審議内容のうち、総会の内容にすべて含まれるため割愛する。

〔通常総会〕

平成25年度北光会第62回通常総会は、6月1日（土）14:30より秋田キャッスルホテルの「放光の間」で開催された。出席者は顧問3名、会長、副会長2名（内1名支部長兼務）、監事3名、支部長7名、各支部理事35名、正会員21名、事務局（理事）4名、の計75名であった。総会の冒頭昨年度亡くなられた会員の皆様へ黙祷をささげた後、開会となった。議事およびその報告・審議内容の概略は以下のとおりである。

(1) 開会

神谷事務局長（MS51）による開会の挨拶に引き続き、会長候補者選挙結果として、現会長の菊地芳朗氏（GS34）が再選されたことが報告され承認された。規定に基づき、菊地芳朗会長が議長に選出され議事が進められた。

(2) 会長挨拶

挨拶では北光会が抱える、新学部への対応、会費納入率の向上などの課題に対処する新役員体制や若手会員の協力依頼などについて方針が示された。

(3) 役員選出

神谷事務局長より、各支部から提案のあった

理事の退任および新任が審議され承認された。（議案書〔議案1〕）

(4) 平成24年度会務および事業報告、平成24年度決算報告（含監査報告）

麻生節夫庶務担当理事（HS52）より、平成24年度の事業報告がなされ、承認された。次いで、五十嵐隆治会計担当理事（ES49）より平成24年度決算についての報告があった。引き続き、平成24年度会計監査について前田秀樹監事（MS52）より適正である旨の報告があった。（議案書〔議案3〕）また、監査意見として、基金不足の懸念より一層の経費節減等の取り組みを求めることを指摘された。これに対する事務局側の回答として、入会金収入の増収、会誌発行回数の削減、会費納入の促進などで段階的に対応したいとの説明があり了承された。なお、総会に先立ち開催された第1回理事会において、会費納入率向上への対応として、ホームページの充実や各支部への情報提供に努めるようにとの意見があり、事務局で対応することとした。

(5) 基金使用報告

五十嵐理事より、平成24年度北光会基金収支決算および北光会奨学部収支決算が報告され、承認された。なお、基金については入会金の値上げにより増収の見込みである旨の説明があった。

(6) 平成25年度事業計画・予算報告

麻生理事より、平成25年度の事業計画案について、次いで五十嵐理事より平成25年度予算案についてそれぞれ提案され、いずれも承認された。（議案書〔議案5、6〕）

(7) 定款改正の件

定款の改正案が提示され承認された。また、新学部設置に伴う定款の改定については、平成26年4月より新学部体制に移行する予定であるので、平成26年度の総会の議決を経ないで、支

部長会議あるいは平成26年3月の理事会で決定したい旨の説明があり承認された。

(8) その他

1) 北光会シンクタンクについて

菅井秋田支部長 (FS40) より、シンクタンク設置の経緯と技術相談員の登録状況の報告があった。引き続き技術相談員を募集すること。および、相談員の情報公開については相談員の判断に委ねることなどが了承された。

2) その他

・総会次期開催地について

菊地会長より北光会創立90周年に向けた下記の予定案が提示され、了承された。

平成26年度/北海道 (札幌)、平成27年度/九州 (福岡)、平成28年度/秋田、平成29年度/秋田以外、平成30年度/秋田 (北光会創立90周年)

(9) 報告事項・その他

1) 学部創立100周年記念募金状況

菊地会長より募金状況の報告があった。

2) クラス幹事について

神谷事務局長より平成24年度の卒業生についての取り組みが報告された。会場よりこの活動を既卒者にも広げてほしいとの意見があった。

3) 新しい事業について

神谷事務局長より以下の取り組みを予定している旨の報告があった。

- ・1年生に会報配付時に北光会の活動を記載したチラシを配付して啓発
- ・北光会グッズの作製 (クリアファイル、お菓子など)
- ・学生編集委員の活用
- ・在学生のクラス会補助

(10) 感謝状授与

議事終了後に、平成25年度顕彰者に対して、菊地会長より感謝状が授与された。田中慶氏 (BS18)、和田洋氏 (BS17)、渡邊純夫氏 (KS25)、船山龍之助氏 (ES26)、大橋省三氏 (BS17)、小林信孝氏 (HS29)、朝倉善之氏 (MS34)、浅野知也氏

(FS35)、小松文雄 (BS29M)、二木亮 (HS31)、山田悦郎 (MS33)、高橋壽夫氏 (MS35) 以上12名が受賞された。

(11) 講演会・懇親会

総会閉会后、同会場で16:30より講演会が開催された。講師は秋田大学大学院工学資源学研究科地球資源学専攻内田隆教授で、演題は「秋田県のエネルギー資源」である。講演は、化石燃料の需要と供給バランス、新しいエネルギー資源としてのシェールオイルの状況、さらにメタンハイドレートへの期待についての解説があった。また、秋田県が現在でも石油、シェールオイル、地熱などのエネルギー資源が豊富な県であることなど、エネルギー事情やエネルギーに関わる秋田県の状況などをわかりやすく講演いただいた。

講演終了後、7階のアゼーリアに移動して、17:30より進藤隆世志北光編集担当理事 (FS55) の司会により懇親会が開催された。開会に先立ち、工藤雄一理事 (ES38)、特別ゲストの大正琴サークル「アンサンブル 蘭」それに参加者による秋田鉾山専門学校校歌等の斉唱や演奏があった。懇親会では菊地会長の開会の挨拶に続き、来賓の小川信明秋田大学工学資源学研究科長からご挨拶をいただいた。次いで成田裕一顧問 (ES29) の乾杯の音頭で宴が始まった。懇親会では菊地会長からご提供いただいた日本酒「北光」や千葉北海道支部長からご提供いただいたワインなどをいただきながら交流が深められ、大いに盛り上がった。最後に次回総会開催地の北海道支部長千葉到氏 (GS35) による一本締めでめでたく閉会となった。

最後に、今回の総会開催に際し、ご協力いただいた秋田支部小松支部長はじめ関係の皆様には大変お世話になりました。この紙面をお借りして深謝申し上げます。

平成25年度 北光会通常総会・講演会次第

開催日 平成25年6月1日(土)

場 所 秋田キャッスルホテル「放光の間」

秋田市中通1-3-5(電話 018-834-1141)

通常総会 14:30～

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

1) 平成25年度役員選出の件

2) 平成24年度会務および事業報告の件

3) 平成24年度決算報告の件(含:監査報告)

4) 基金使用報告の件

5) 平成25年度事業計画(案)の件

6) 平成25年度予算(案)の件

7) 定款改正(案)の件

(新学部設立に伴う北光会の対応)

8) その他

1) 北光会シンクタンクについて

2) その他

・総会次期開催地について

4. 報告事項

1) 100周年記念事業について

2) クラス幹事について

3) 新しい事業について

5. 感謝状授与式

6. 閉 会

記念講演会 16:30～17:20

講演者: 秋田大学大学院工学資源学研究所

地球資源学専攻教授 内田 隆 氏

演 題: 「秋田県のエネルギー資源」

懇親会 17:30～ (7階アゼーリア)

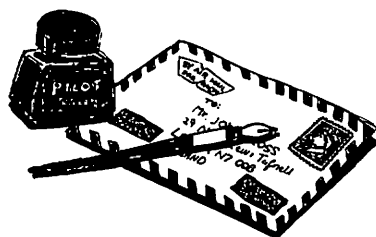
会 費 男性 7,000円 女性 4,000円

今年の秋田の夏は特別な気候でした。気温は
 平年並みでしたが、とにかく雨が降りました。
 7月だけでも4回の大雨に見舞われました。7
 月3日から6日、8日、12日、27日と秋田県
 南部を中心に記録的な大雨がありました。秋田
 地方気象台によれば、統計開始以来7月として
 は最も多い降水量であり、県内36観測地点の
 うち、20地点で記録を更新したとのこと。す
 ぎ、8月3日に梅雨明けした後でも、秋田県
 内では猛烈な大雨を経験しました。8月9日未
 明に降り出した雨は、県北部を中心に局地的な
 豪雨となり、鹿角、湯瀬や鎧畑、桧木内では一
 日の降水量が135-293 mmにも達しました。い
 ずれも、観測史上最大（あるいは8月としては
 最大）を記録しています。この大雨により田沢
 湖地区では土石流、床下、床上浸水が発生し、
 がけ崩れなどによる通行止め、秋田新幹線運休
 など交通機関にも大きな影響がありました。温
 暖化など気候変動の影響（？）でなければよい
 のですが、少し気になるところです。

長かった夏休みが終わり、手形キャンパスに
 は学生たちの元気な姿が戻ってきました。キャン
 パス内の環境整備も一段と進んでいます。工
 学資源学部1号館（電気電子工学科）の改修工
 事が行われており、まもなく新装の予定です。
 また、キャンパス内で最も改修が遅れていた工
 学資源学部4号館（環境応用化学科の本館部分
 （燃料化学科の部分））の工事も今年度中に進め
 られます。学部の改組再編、新学部設立も最終
 的な局面を迎えています。昔を知る卒業生には
 懐かしい学科の名称や建物に郷愁もあろうかと
 思います。北光を通して新しい手形キャンパ
 スの様子をお伝えしてまいります。その第一弾、
 北光155号は学生クラス幹事・結成記念号です。
 学生企画インタビュー記事を掲載しました。現
 役の学生にとっても魅力のある北光会となるよ
 う事務局で検討しているところですので、皆様

からのお知恵、物心両面でのサポートなどご協
 力をお願い申し上げます。

進藤隆世志 (FS55)



発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
 秋田大学工学資源学部 北光会
 URL: <http://www.hokkokai.com>
 E-mail: info@hokkokai.com
 電話 018(835)9822
 018(889)2317
 FAX 018(835)9822
 振替 02510-5-1231

発行人 神谷 修(MS51)

編集委員

佐藤 祐美(WH22A)	芳賀 一寿(UH20)
近藤 良彦(FH5)	小松 芳成(CS57)
高橋 秋典(DH3)	小松 喜美(MH10)
熊谷 誠治(EH7)	鈴木 雄(CH20)

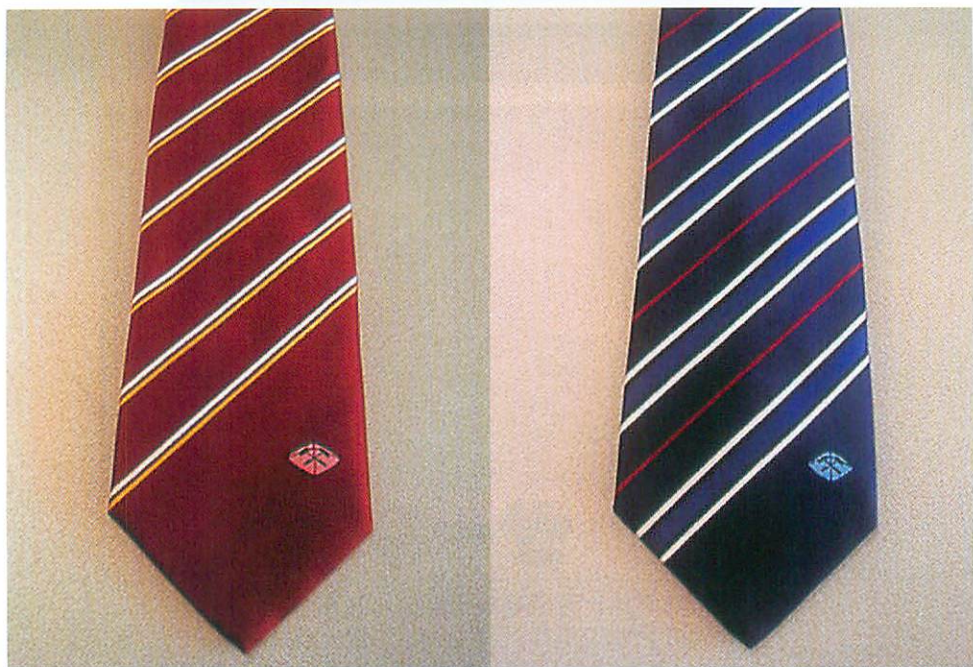
北光会事務局

事務局長	神谷 修(MS51)
庶務担当理事	麻生 節夫(HS52)
会計担当理事	五十嵐 隆治(ES49)
編集委員長	進藤 隆世志(FS55)
ホームページ担当理事・コンピュータ 担当理事	横山 洋之(DH1)

事務室 遠藤 福子、大野 裕子

印刷所 秋田活版印刷株式会社

北光会グッズのご案内



『北光会ネクタイ』

青とエンジの2色。シルク100%でネクタイの下部に北光会のマークが織り込まれております。

販売価格：1本4,200円(郵送の場合は4,500円)

歌とマンドリン演奏による 「秋田鉾山専門学校の歌」CD



今年、歌とマンドリン演奏による「秋田鉾山専門学校の歌」CDを発売いたしました。前号「北光」154号でご紹介をいたしましたところ、好評をいただいております。販売枚数が限定となっており、残り少なくなりました。お求めの方は、至急北光会事務局までご連絡ください。
価格：1枚 1,500円(送料込)



『北光会ネクタイピン』

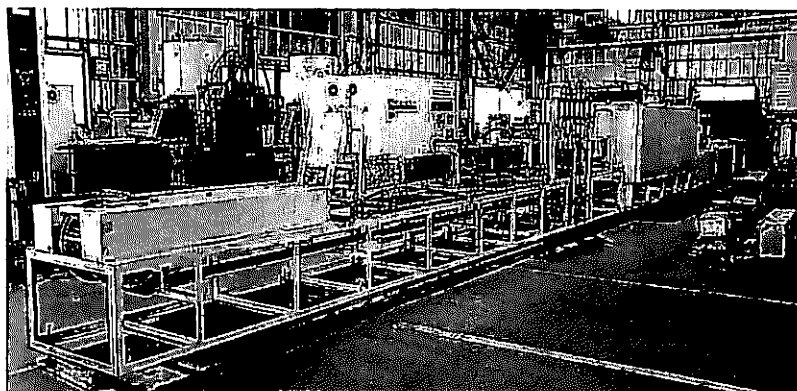
鉾山時代からの校章をデザインした七宝焼き風のネクタイピン。

販売価格：1個3,500円(郵送の場合は3,700円)

お申し込み、お問い合わせは下記まで。
北光会事務局 TEL・FAX 018-835-9822
E-mail: info@hokkokai.com

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 **サーマル**

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail thermal1@sepia.ocn.ne.jp

広告掲載ご協賛会社を募集

同窓会誌「北光」の広告掲載についてご協力をお願い申し上げます。

ご協力をいただける場合には北光会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。